

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆働く高齢者の年金減額、緩和議論 納付期間45年に延長案

・5年に1度の公的年金制度の改革に向けた検討が始まった。働く高齢者の年金額が減らないように「在職老齢年金」の見直しを議論。基礎年金の受給額を増やすために保険料を納める期間を延長する案も。厚生労働省は制度の見直しにあわせ、公的年金制度の定期健診にあたる財政検証を実施。財政検証の結果をまとめ、必要な改革案を年末にかけて詰める。

◆日本人人口、減少幅最大の83万人減 外国人が労働力補う

・総務省が発表した人口推計によると、2023年10月1日時点で外国人を含む日本の総人口は前年比59万5000人少ない1億2435万2000人だった。減少は13年連続でマイナス幅は比較可能な1950年以降で2番目に大きい。少子高齢化が進み、流入が増えている外国人が成長を支える労働力として存在感を増している。

◆平均世帯人数、初の2人割れへ 33年に、厚労省研究所推計

・世帯を構成する平均人数が、2033年に初めて2人を割り込み、1.99人にまで減ることが、厚生労働省の国立社会保障・人口問題研究所がまとめた「日本の世帯数の将来推計」で分かった。47年には1.92人に減少するとみられ、未婚化の進行で65歳以上の高齢者単独世帯が増加することなどが影響しているという。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆住宅団地、店舗に転用しやすく 改正地域再生法が成立

・住宅団地の再生に向けた改正地域再生法が参院本会議で可決、成立した。用途が厳しく制限されている住居専用地域での建築規制を緩和。住宅をコンビニやカフェといった小規模店舗に転用したり、廃校舎を活用したシェアオフィスなどの交流拠点を整備したりしやすくする。規制緩和は、市町村が作成する事業計画に基づく措置として実施。

◆鋼材需要、4～6月期は5.4%減 建設業が下押し—経産省

・経済産業省が発表した4～6月期の鋼材需要見通しは、前年同期比5.4%減の1895万トン。建設業や、自動車を除く製造業が引き続き低調で下押し要因となるため。粗鋼生産量は2171万トンを見込む。部門別の国内鋼材消費量見通しは、建設部門で土木が4.7%減。製造業部門は、自動車が2.6%、産業機械が6.5%それぞれ減少する。

◆温暖化ガス排出量、22年度11.35億トン 90年度以降最低

・環境省は2022年度の温暖化ガス排出量が11億3500万トンと、1990年度以降で最低だったと発表。2021年度比では2.5%減少した。工場などの産業部門やサービス部門で二酸化炭素(CO2)の排出量が減少したことが寄与。部門別では、工場などの産業部門では21年度比5.3%減。鉄鋼業の生産量が減少し、エネルギー消費量が減った。

《 注目商品 》

■クリナップ、洗面台「rakutowa(ラクトワ)」 コンパクトにリビングテイストを実現

・シンプルで空間になじむ洗面ボールと、幅広いデザインと調和する扉カラーをラインアップ。扉はスタンダードカラーのほかハイグレードカラー6色を選択でき、コーディネートもしやすい。キャビネットは開口75cmの引き出しタイプ、90cmのオールスライドタイプと引き出しタイプから選べる。



■ダイキン、大風量・木目調デザインの加湿空気清浄機を発売

・空気清浄能力とデザイン性を向上させた「加湿ストリーマ空気清浄機(MCK904A)」を発売。より薄型で強力な空気清浄機に特化した「フラットDCモーター」を独自開発。従来のモーターと比べて出力を1.2倍に強化し、空気中の微細粒子をより迅速に除去し、花粉の捕集スピードを2倍にした。



■施工性を高め、端部をきれいに納めるアルミ床見切り

・森田アルミ工業は、アルミ床見切り「keid(ケイド)」を発売。T型形状にすることで1mmのかぶせをつくり施工性を実現。この形状がタイルやフローリングをつなぎ、端部をきれいに納める。アルミニウムにアルマイト加工のマットシルバーをほどこし、色・素材を選ばずさまざまな床材に調和。

